

安井保育園 子育てだより

～てをつなごう～ 第83号《10月・11月》

西宮市安井町 4-15 TEL 0798-34-6677

少しずつ過ごしやすい季節になってきましたね。安井保育園の子ども達は、運動会でお家の人に成長した姿を見てもらう事を楽しみに取り組みを頑張っています。また、園庭では好きな遊びを思いっきり楽しんでいます。園庭の畑には各クラス冬野菜の苗を植え始めます。今年も収穫して美味しくいただくことができますように。

10月からも育児講座や短期体験保育や園庭開放がありますので、たくさん遊びに来てくださいね。

【育児講座】

講師の先生を招いて行います。親子で楽しい時間を過ごしませんか。

ご希望の講座一日ずつお申し込みください。 《 時間 10:00～11:00 》

講座名	日程	対象年齢	募集
親子クッキング	2023年12月6日(水)	2歳以上児	各日 6組



【短期体験保育～親子で一緒に保育園～】

お子様の年齢と同じクラスと一緒に遊びます。

《 時間 9:30～11:00 ・ 各日2組 》

0歳児クラス	2023年11月21日(火)
1歳児クラス	2023年11月28日(火)
2歳児クラス	2023年11月8日(水)

短期体験保育の対象年齢について

- ・0歳児クラス(2022年4月2日～2023年4月1日生)
- ・1歳児クラス(2021年4月2日～2022年4月1日生)
- ・2歳児クラス(2020年4月2日～2021年4月1日生)

※今年度の短期体験保育は11月の日程で終了となります。

申込み方法について

育児講座や短期体験保育は事前の申し込みが必要です。

各日程の1ヶ月前の10:00より受け付けます。

(土曜、日曜、祝日の場合は、次の平日より)

受付方法につきましては、各日程の申し込み受付日時が近づきましたら、ホームページの最新のお知らせにてご案内させていただきます。



【園庭開放とミニ試食会】

園庭開放(毎週木曜日9時～11時・雨天中止)に遊びに来てくれた保護者の方(先着5名程)対象に、保育園の給食のミニ試食会を下記の日程で行います。日頃の食事の参考になれば幸いです。当日は、栄養士もいますので食事の悩みがあればお聞かせください。

◎離乳食(完了食)のミニ試食会 10月5日(木)


◎給食のミニ試食会 11月9日(木)



※当日、園庭で遊んでいる保護者の方に10:20頃よりお声がけさせていただきます。ぜひご参加くださいね。



ゆったりと見守りゆっくりと成長を楽しみましょう！

子育てだより（8月・9月号）第82号では『首がすわる～おすわり』までの成長の過程とそのポイントをご紹介しました。今回は『這い這い～歩き始め』までをご紹介します。 ※参考文献『0・1・2歳児の発達と保育』/郁洋舎

<p>⑦腰をあげて這い這いへ</p> 	<p>両手両足をしっかりつき、腰を高くあげる姿が見られるようになると、這い這いへの移行の合図です。この時期にはできるかぎり、自分の手で身体を支える経験や足でふんばる経験など、自力で移動する経験をたくさんさせてあげましょう。</p> <p>そして、両手両足で自分の身体を支えることができるようになると、這い這いが始まります。四肢で自分の身体を支えるためには腰、背中、肩の力が育っていなければなりません。這い這いを活発に行うことで体幹が十分に育めます。這い這いで前進するときは3点支持をしながら手足を交互に出す協調動作が必要なので、平衡感覚も身につきます。</p>
<p>⑧高這い</p>	<p>這い這いをたっぴりと経験すると、身体のコントロールが十分にできるようになり、四つん這いになって手の平と足の裏をしっかりとついて頭を腰の位置より高い位置にあげ前を見て、バランス良く高這いをするようになります。高這いが見られるようになるといよいよつかまり立ちやつたい歩きにつながっていきます。</p>

遊びのポイント お布団や座布団などで低い斜面をつくり昇り降りをするなど、自分の手と足をしっかりとついてバランスをとりながら遊ぶ経験をたくさんできるようにすることが大切です。

大切なポイント 這い這いをすることは、歩行に進む前の大切なプロセスです。這い這いをあまりすることなく、つかまり立ちや伝い歩きに進むことがあります。急いでしまうと体幹や平衡感覚が育たないまま歩行するようになり、その結果こけやすかったり、バランスを崩して怪我をしやすくなったりすることもあります。這い這いができる広い空間で遊べるようにすることや、自分から興味のある玩具を見つけて這い這いで取りに行けるようにするなど、工夫して十分に這い這いできる環境で遊ばせてあげてくださいね。

<p>⑨つかまり立ちとつたい歩き</p> 	<p>背筋や足腰の発達が促され重心の感覚が養われると、棚などにつかまって立ち上がろうとする姿が見られます。つかまり立ちができるようになると、さらに腹筋や背筋が急激に育ってきます。そして、つかまり立ちをして同じ姿勢を保てるようになると、足の筋力、背筋力、バランス感覚などがさらに発達していき色々な物につかまりながらつたい歩きが始まります。</p>
<p>⑩ひとり歩き</p> 	<p>つかまり立ちやつたい歩きを繰り返すうちに、手を離しひとりで立つことが出来るようになります。バランスを取りながらふんばりますが長い時間は難しく、お尻から落ちるように座ります。これを繰り返すことで少しずつバランスを取るのが上手になり、片足を1歩前に出すことが出来るようになると歩行が始まります。始めは両腕をあげ足を開き、腰を落とした姿でバランスを取りながら歩行しますが、歩数も多くなり安定していくと両腕の位置も下ろして歩くことが出来るようになります。両腕の位置が安定した歩行の目安にもなります。</p>

遊びのポイント 壁面の適度な高さで遊具を準備すると、目当ての遊具に這い這いで近づき、壁をつたって立ち上がり、遊具をつかむなどします。また、つかまり立ちやつたい歩きしやすい高さの机の上に、興味のある玩具を置いてあげるのもいいかもしれません。

歩き始めの頃には手押し車や、適度な重さのある段ボールなどの箱（子どもが力を入れて押したらやっど動くくらいのしっかりした箱）を用意すると子どもは喜んで押して歩きます。また、箱の縁を両手の平でしっかりとつかみ箱を回転させることで、身体の重心の移動や方向転換を遊びながら体感していきます。

歩くことが安定してくると、何かを持って歩くことや引いて歩くことが楽しくなります。紐で引っ張って歩く玩具や、箱に紐を付けて引っ張り歩けるようにするなど、子どもが楽しみながら意欲的に歩きたくようにできるといいですね。

大切なポイント バランスを崩してこけても危なくない環境や、滑りやすい物を床の上に置きっぱなしにしないように心がけましょう。またつかまり立ちした時に、手の届く所に危ない物が置いていないか確認しておく必要がありますね。

赤ちゃんも自分の意志で五感を使い、意欲的に成長していく力があります。自分の意志で楽しみを見つけ、遊びを通して心身ともに成長していく姿を見守ってあげて下さいね。